

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の目標は開所時に話し合い決めたのだが、理念としての明文化がされておらず、理念の共有化がされていない。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念を、法人とも話し合い管理者と職員が共有し理念の実践に向け取り組んでいく。	毎月行っているミーティング時に話し合い、職員全員の意見を入れながら事業所理念を作りあげる。	6ヶ月
2	6	身体拘束や虐待防止マニュアル等が作成されていない。研修会等に参加していない。	身体拘束や虐待の研修会等に、積極的に参加して行く。事業所内での学習会等を受け、身体拘束、虐待防止のマニュアルを作成する。	外部研修会への参加。全員で学習会を行い、身体拘束、虐待のないケアについての全職員での意識の共有をはかる。	6ヶ月
3	35	避難訓練の実施計画の段階で、実際行われていない。	火災、地震、水害等の災害に備えての訓練を計画通り、6月12月に実施する。	地域住民や消防署との連携を図りながら実践的な訓練を行う。救命救急講習会等も行う。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月